

ICTで未来に輝く信越地域実現のために！

～平成22年度信越総合通信局重点施策を策定～

総務省では、地上デジタル放送への完全移行に万全を期すほか、ICT産業の国際競争力の強化、教育・環境等の分野におけるICT利活用を促進する取り組みの強化、世界をリードする最先端技術の開発・普及への投資を積極的に行うことにより、我が国経済の新たな成長を実現していきます。

信越総合通信局では、総務省の重要施策を実施していくため、3項目を柱とした重点的に取り組む施策を策定しました。

第1に「地上デジタル放送への完全移行の推進」では、デジタル化対応のための改修に時間を要する共聴施設の早期対策の必要性から周知広報に努め、関係者と連携し各種共聴施設の早期の完全デジタル化を促進します。また、共聴施設からケーブルテレビへの移行によるデジタル化対応を促進するために、デジ・アナ変換の導入に向けた支援を実施します。一方、受信者への支援としては、地上デジタル放送を受信するための対応方法等をあらゆる手段により周知するとともに、総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）による高齢者等への説明活動の強化や総務省チューナー支援実施センターによる地デジチューナー配布の円滑な実施を支援します。さらに、地上デジタル放送の中継局整備を着実に実施し、アナログ放送と同等のエリアカバーをできるだけ早期に完成させます。また、新たな難視に対し、放送事業者と連携し速やかな対策計画の策定とともに確実な対策実施を促進していきます。

第2に「ICTの利活用による地域の活性化の促進」では、ICTの利活用による地域の活性化に向け、地域ICT利活用広域連携事業等の地域の特性に応じた支援制度の活用を図るとともに、地域競争力向上に係る有線、無線の利活用を推進する調査検討や各種セミナーの開催等を通じて、自治体、地元企業、地域住民等と協働して地域情報化を促進します。また、産学官連携による情報通信技術の高度化に向け、戦略的情報通信研究開発推進制度（SCOPE）等の支援制度を活用し、地域の大学や民間企業が行う研究開発も積極的に支援します。一方、デジタルデバイドの解消に向けては、無線システム普及支援事業等の活用により、関係団体と連携し携帯電話サービスの利用可能な地域の拡大を促進します。

第3に「安心・安全な情報通信利用環境の確保」では、電気通信サービスを安心・安全に利用できるよう、信越電気通信消費者支援連絡会等の活動を通じ、関係機関と連携して利用環境を整備するとともに、e-ネット安心講座（e-ネットキャラバン）を積極的に推進し、インターネットの安全利用の啓発に努めます。また、重要無線通信妨害に対する迅速な対応や不法無線局等の取り締まりの強化により、電波利用秩序の維持に努めるとともに、説明会等を通じて、電波の安全性に関するリテラシーの向上に努めます。



今後は、重点施策を着実に実施するため、進捗状況を確認しつつ、着実に実施していくこととしております。

(問)総務部 総務課 026-234-9962

CONTENTS

ICTで未来に輝く信越地域実現のために！……………1

3Gブレイク高速無線伝送システムの実用化に向けて……………6

管内各県のデジタル放送推進のための
行動計画を策定……………2

Let's地デジ！私たちが応援します！！……………4

管内各県のデジタル放送推進のための行動計画を策定 ～課題ごとに行動計画を具体化～

信越総合通信局、地方公共団体、放送事業者及び関連団体等で構成する「長野県地上デジタル放送普及推進会議」及び「新潟県地上デジタル放送普及推進会議」は、3月末までにそれぞれ総会を開催し、関係団体が取り組む具体的な行動を明記した「デジタル放送推進のための行動計画」を策定しました。

信越総合通信局では、本行動計画を踏まえ、関係団体と連携して地上デジタルテレビ放送の推進に取り組むこととし、送信側及び受信側の各課題に適切に対応するための施策を計画的かつ積極的に促進していきます。

デジタル放送推進のための行動計画概要

I 理解醸成活動の推進

- i 周知広報活動の徹底（放送メディア・自治体広報誌による周知・広報の強化）
- ii 相談・受信者支援体制の充実強化（巡回方式による高齢化・障がい者等への働きかけ強化）
- iii 悪質商法への対応（住民への周知・広報の徹底）

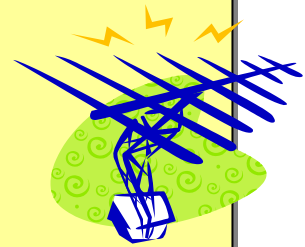
※受信機器の世帯普及目標率：2010年12月末時点96%

II 共聴施設改修・受信機器支援等の受信側対策

- i 辺地共聴施設 **目標率：2011年までに100%**
- ii 受信障害対策共聴施設 **目標率：2011年3月時点90%**
 - ◎ケーブル加入による長野新幹線の受信障害対策の移行促進
 - ◎新潟市中央区の受信障害対策共聴施設を重点的に対策
- iii 集合住宅共聴施設 **目標率：2011年3月時点95%**
- iv 経済的な理由でデジタル放送に移行できない世帯への支援

III 中継局整備等の送信側対策

- i 中継局等の整備（全ての中継局の開局予定日を本年春に公表）
- ii 新たな難視地区への対応（速やかな対策計画の策定）
- iii デジタル混信（速やかな対策計画の策定）
 - ◎秋田からのダクト性混信に対する受信者対応（解消時期の周知を含む）
- iv ケーブルテレビの普及促進等（デジタル放送のみの再送信サービス導入）
（デジアナ変換導入）



※長野県、新潟県の行動計画は当局ホームページをご覧ください。

URL <http://www.soumu.go.jp/soutsu/shinetsu/sbt/houso/dejitaru/koudoukeikaku.html>

(問)情報通信部 放送課デジタル放送受信者支援室 026-234-9951

デジタル放送完全移行まで500日！ ～管内でPRイベントを開催～



地上デジタル放送への完全移行まであと500日となった3月11日、長野県の地デジ推進大使5名と地デジ推進メインキャラクターの「地デジカ」が長野県庁に集合し、地デジPRイベントを開催しました。

イベントは、信越総合通信局、長野地上デジタル放送推進協議会、長野県及びデジサポ長野が連携して開催したもので、村井仁長野県知事も参加し「災害時など、テレビはなくてはならないもの。デジタル化によって視聴できない世帯があってはならない。」と、県としても完全移行に万全を期す考えを強調しました。

また、地デジの特徴や視聴方法を地デジ推進大使がわかるがわる説明し、早めの対応を呼びかけました。

デジサポ長野では11日と12日の2日間、長野県庁1階ロビーにおいて「地デジ受信相談所」を設置し、地デジ移行に関する質問にお答えしました。また、11日は新潟市「NEXT21 アトリウム」においても、デジサポ新潟が「地デジ受信相談所」を開設し、多数の方々が相談に訪れました。



【地デジカも登場したPRイベント】 (問)情報通信部 放送課デジタル放送受信者支援室 026-234-9951

ミリ波帯高速無線伝送システムの実用化に向けて ～検証試験中に十数年ぶりの豪雪～

信越総合通信局が主宰する「ミリ波帯高速無線伝送システムに関する調査検討会」（座長 信州大学工学部 半田志郎教授）は、3月25日に調査検討会の最終会合を開催し、ミリ波帯高速無線伝送システムの検証結果及び実用化に向けた提言を報告書として取りまとめました。

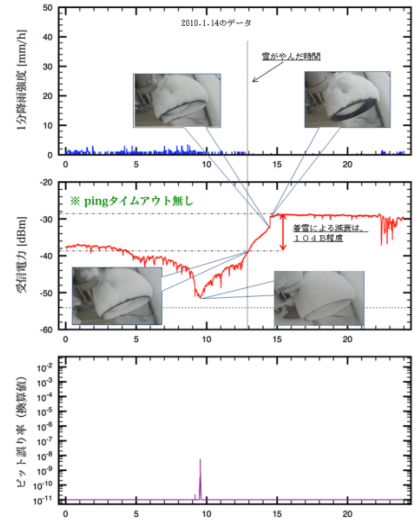
調査検討会は、現在、未利用周波数帯となっているミリ波帯について、短距離区間における光ファイバ相当の高速伝送手段として活用が可能か、信越管内でも豪雪地帯として有名な新潟県上越市において、平成21年10月28日から平成22年1月19日の約3ヶ月間、ミリ波帯(70/80GHz帯)の検証システムの試験を行い、1.39Kmの距離における伝送が確認されたほか、ミリ波帯伝送で影響が大きい降雨・降雪減衰等に係る伝搬特性において、雪質(湿雪/乾雪)



【十数年ぶりの豪雪に見舞われた上越市内】

の違いによる減衰や着雪影響によるレベル変化状況など、80GHz帯としては国内初のデータが取得されました。

信越総合通信局では、本調査検討会の成果により、ミリ波帯(70/80GHz帯)高速無線伝送システムが早期に実用化されることを期待しています。



【降雨・着雪によるレベル変化例(H22.1.14)】

(問)無線通信部 企画調整課 026-234-9940

安心・安全なインターネット利用のために! ～本年度も「e-ネット安心講座」を継続して実施～



近年、携帯電話やインターネットが急速に普及する一方で、子どもたちに対する学校裏サイト、迷惑メール、個人情報漏洩、架空請求詐欺などのトラブルも多発してきており、児童・生徒を保護・教育する立場にある保護者、教職員に対してのインターネットや携帯電話の安心・安全利用に関する啓発が求められているところです。

このため、総務省、文部科学省、電気通信事業者等では、e-ネットキャラバン運営協議会を結成し、主に保護者及び教職員向けにインターネットの安心・安全利用に向けた啓発を行う「e-ネット安心講座」（「e-ネットキャラバン」）を平成18年4月から実施しており、平成22年度以降も引き続き実施することとしています。

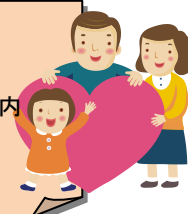
e-ネットキャラバンは、平成22年度からは、従来のテキストを時機にあった新たなテキストに改訂して講座を実施することとしており、今までにまったく講座を受けたことのない方は勿論、以前に受講されたことのあるPTAや教職員、さらに児童(高学年)、生徒が新たなテキストにより再度、受講されることも可能です。受講の申し込みは、e-ネットキャラバンホームページ (<http://www.e-netcaravan.jp/>)

から入力して手続きしてください。

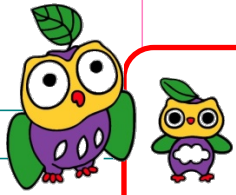
なお、インターネット環境のない場合は、電話及びファクシミリでのお申し込みも可能ですので、事務局までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

e-ネットキャラバン事務局
(財) マルチメディア振興センター内
URL <http://www.e-netcaravan.jp/>
TEL 03-5403-1090



(問)情報通信部電気通信事業課 026-234-9952



Let's 地デジ！ 私たちも応援します！！

SBC信越放送

～第3回 SBC信越放送 聲山 美耶子さん～

長野県及び新潟県で地デジの周知広報活動に取り組む地デジ推進大使をシリーズで紹介します。
第3回は、SBC信越放送の聲山 美耶子（うしやま みやこ）さんです。

■地デジ推進大使に任命された感想は？

地デジ推進大使に任命されてから、はや4年が経ちました。初めは「地デジ」がどういうものなのかピンとこなかったのですが、色々学び、最近では質問されたらすぐに、地デジのいいところを次から次へとアピールできるようになりました。最初はドキドキ、緊張した大使の仕事。胸を張って一生懸命取り組んでいます。

■地デジ推進大使として活動（エピソードなど）しての感想は？

4年も大使を務めていると、関わったPRスポットやパンフレットも様々。衣装から撮影場所、演出にBGMと、それぞれのディレクターさんが工夫を凝らした力作がいっぱい！なかでも一番思い出深いのは、初期の頃に撮ったPRスポットです。長野県の地デジ大使の制服「クリーム色のブレザー&白いスカート」を身にまとった私たち県内の地デジ大使5人は、緑まぶしい季節に広い公園に行き、「アルプス一万尺」の替え歌で地デジをPRしながら、一列になったりくるくる輪になったりと半日ばかりで踊りまわりました。かなりのインパクトと話題性を県民のみなさまにお届けできた（と思う）、いい体験です。ダンスを覚えるのが大変だった…。

■地デジの良さについてひと言（PR）！

我が家に地デジ対応テレビが登場したのは、1年ほど前のこと。とにかく衝撃的でした！こんなにも画質がきれい、音がクリアだなんて、実際買ってみるまでは実感がそれほど湧かなかったのです。自分の家がとても新鮮に感じられ、帰宅するのが楽しみになりました。リモコンにはたくさんのボタンがついていますが、これがまた便利。番組表が一発検索ができて、録画予約も簡単にできるし、データ放送もしているから情報量の多さが半端じゃありません。恐るべし、地デジの魅力！

■地域のみなさんにひと言！

私が生まれたのは、信州の中でも自然がとても多くてのんびりしたところ。ちょっと疲れたときや苦しいときに生まれ育った故郷を思い出すと、元気が湧いてきます。アナウンサーになって7年目になりますが、南北に広い地形の長野県には、まだまだ知らないことがたくさん。自分自身が毎日を楽しんで、テレビやラジオを通じてみなさんに新鮮な情報や和みの時間をお届けしようと思いますので、これからもよろしくお願ひします。



■プロフィール

名前：聲山 美耶子（うしやま みやこ）
出身地：長野県
趣味：ピアノ、バスケットボール
性格：「ちょっと天然」と言われますが、それほどではありません。

契約者数は、全国・管内ともに微増傾向続く！ ～ブロードバンドの普及状況（平成21年12月末現在）～

管内のブロードバンド全体の契約数は昨年12月末現在で、新潟県では464,299件（世帯普及率56.7%）、長野県では476,017件（世帯普及率61.0%）で全国の世帯普及率64.0%を若干下回っています。

このうちFTTHアクセスサービス契約数は新潟県232,500件、長野県222,566件で両県共にブロードバンド全体の契約数の約半数を占め、昨年における年間平均伸び率は両県共約35%での全国の年間平均伸び率の約32.6%を上回っています。

CATVアクセスサービス契約数は、新潟県では30,021件で年間平均伸び率は約16.5%で、全国の年間平均伸び率約8.5%を上回っていますが、長野県では94,227件で年間平均伸び率は約1.5%と鈍化しています。また、DSLアクセスサービス契約数は、新潟県、長野県、全国とも引き続き減少しています。

〔ブロードバンドサービス別の契約数及び世帯普及率〕

（平成21年12月末）

	ブロードバンドサービス全体		FTTH アクセス		DSL アクセス		CATV アクセス	
	契約数	普及率	契約数	普及率	契約数	普及率	契約数	普及率
新潟県	464,299	56.7%	232,500	28.4%	201,759	24.6%	30,021	3.7%
長野県	476,017	61.0%	222,566	28.5%	159,211	20.4%	94,227	12.1%
全国	31,709,084	64.0%	17,195,696	34.7%	10,134,491	20.4%	4,300,594	8.7%

※管内のブロードバンドサービス契約には、上表の他に、無線アクセスサービスがあります。
※世帯普及率は平成17年度国勢調査の全国の総世帯を基にした世帯普及率を示す。
【総世帯数】 新潟県：819,552 長野県：780,245 全国：49,566,305

（問）情報通信部 電気通信事業課 026-234-9936

主な予定

■信越情報通信懇談会 総会記念講演会

日時 5月26日（水）
場所 メルパルク長野

■平成22年度 電波の日・情報通信月間記念式典

日時 6月1日（火）
場所 メルパルク長野



カタクリ（ユリ科）
当局が入居する
合庁付近で撮影